

1. 小松市スポーツ推進計画

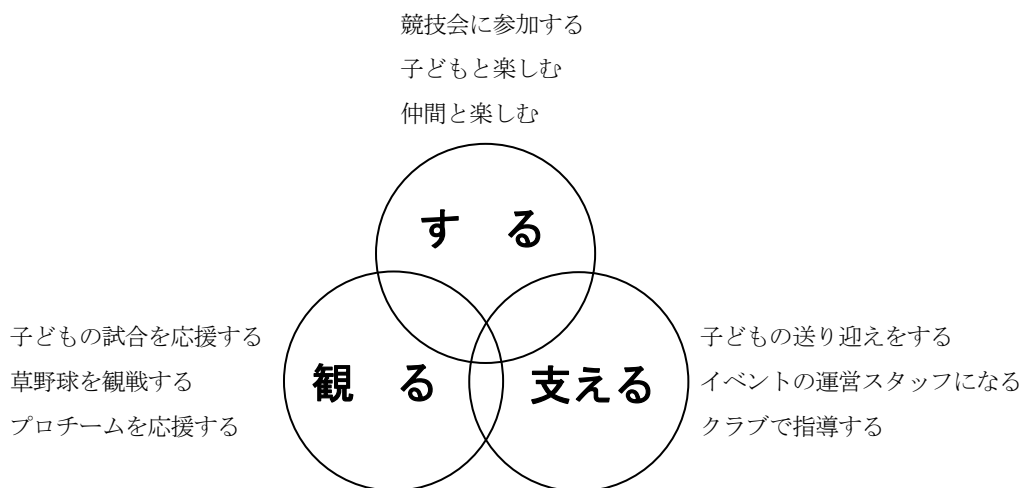
小松市は、平成23(2011)年6月に公布されたスポーツ基本法に基づき、スポーツ施策をより一層効果的・効率的に推進するために、スポーツ振興施策を総合的かつ体系的に定めた「小松市スポーツ推進計画」を下記の基本理念、基本方針、目標を次のとおり策定しました。

◆基本理念

豊かなスポーツライフ

スポーツが生む — 夢 感動 そして絆

夢、感動を与えるスポーツを推進し、「スポーツをする、観る、支える」すべての市民が、仲間とともにさまざまなスポーツを楽しみ、健康を増進し、生きがいを感じ、絆を深めることができる“豊かなスポーツライフ”を目指します。



◆基本方針、目標

スポーツ推進計画(5つの柱)

- ① トップアスリートの育成・強化
世界大会・全国大会に出場する選手の増加を目指します。
- ② 学校における運動・スポーツの充実
体力テストのすべての項目でレベルアップを図ります。
全学校で、体力向上への取り組みを実施します。
- ③ ライフステージに応じたスポーツ機会の創造
週1回以上スポーツをする市民の割合を増やします。
- ④ 魅力あるスポーツ施設の整備・充実
小松運動公園を整備・充実し、利用者数の増加を目指します。
- ⑤ スポーツ交流の推進
市内や県外からのスポーツ(合宿も含む)交流人口の増加を目指します。

2. 小松市における体育・スポーツの組織及び団体

◆組織及び団体

-小松市スポーツ協会-

昭和21(1946)年8月、小松市の体育・スポーツの振興を目指し、市内の体育団体、学校関係者、企業等の代表者が集まり小松市体育連盟が結成された。

第2回国民体育大会(昭和22(1947)年石川県開催)の軟式野球競技会場が小松市に決定したことから、施設の充実や運営面の強化を図るため、小松市当局や市内のスポーツ団体の活動が活気を呈し、小松市体育協会設立の気運が急速に高まり、体育連盟を発展的に解散して、昭和23(1948)年5月に小松市体育協会が誕生した。

その後、小松市体育協会を市民に広く認知され、信頼され、支援を受けることのできる団体とするためには、法人化すべきであるとの声が高まり、平成8(1996)年4月に社団法人小松市体育協会が設立され、平成25(2013)年3月には公益社団法人の認可を受けた。また、平成30(2018)年4月1日より小松市スポーツ協会に名称を変更した。

「sports for all」の理念のもとで、生涯スポーツの普及・振興に努めている。市民スポーツ大会などの各種大会やスポーツ教室の運営、加盟するスポーツ団体への支援を行っている。

▼小松市校下スポーツ協会▼

芦城、稚松、安宅、犬丸、荒屋、第一、苗代、蓮代寺、向本折、今江、串、日末、符津、粟津、木場、矢田野、月津、那谷、国府、中海、金野、西尾、波佐谷、東陵、能美、自衛隊 計26

-小松市スポーツ少年団-

スポーツ少年団とは、(公財)日本体育協会が推進する事業で、「スポーツを通して、青少年の心と体を育てる組織を地域社会の中に！」を目的に、昭和37(1962)年には日本スポーツ少年団が設立され、同年には石川県スポーツ少年団が発足し、小松市においては昭和41(1966)年に誕生した安宅スポーツ少年団が最初である。

スポーツ交流大会や国際交流活動など、さまざまな育成事業を行っている。また、小学校下ごとにある、サッカークラブのような単一型や、いろいろなスポーツをする複合型など、地域に密着して活動を行っている。

-小松市スポーツ推進委員会-

小松市ではスポーツ推進委員が各校下に1人以上、合わせて35人のスポーツ推進委員がいて、地域住民のスポーツ振興のために活動している。主な活動は、ニュースポーツのルール説明や実技指導などで、人数や場所、年齢にあわせてルールを考えながら、子供からお年寄りまでみんなが楽しめるように工夫している。より多くの人にニュースポーツを体験してもらい、スポーツの楽しさを知ってもらえるよう自主的に取り組んでいる。

スポーツ団体

- ・種目別協会 : 43団体
- ・校下体育協会 : 26団体
- ・種目別クラブ : 362クラブ(11,048人)
- ・総合型地域スポーツクラブ : 5クラブ

(令和2年3月現在、令和2年度いしかわのスポーツより)

3. 小松市主催の主なイベント

◆小松市民スポーツ大会

【大会趣旨】

夢、感動を与えるスポーツを推進し、「スポーツをする、観る、支える」すべての市民が、仲間とともに様々なスポーツを楽しみ、健康を増進し、生きがいを感じ、絆を深めることができる、「豊かなスポーツライフ」を目指している。

また、本大会が『Sports for all』による市民総スポーツ参加への原動力となることを期するものである。

【競技種目(夏季大会)】

(1) 対抗競技(24)

陸上, 水泳, バレーボール, バスケットボール, 卓球, 軟式野球, ソフトテニス, テニス, バドミントン, ソフトボール, 剣道, 柔道, 相撲, 体操, 自転車, 弓道, サッカー, ボウリング, ゲートボール, ゴルフ, グラウンドゴルフ, トランポリン, クレー・フィールド射撃, パークゴルフ

(2) オープン競技(12)

ハンドボール, 山岳, ラグビーフットボール, 空手道, アーチェリー, ボート, 少林寺拳法, 銃剣道, オリエンテーリング, なぎなた, 合気道, 太極拳

【競技種目(冬季大会)】

(1) 対抗競技(2)

綱引き, スキー(クロスカントリー, アルペンスキー)

◆小松市スポーツフェスティバル

【概要】

小松市スポーツフェスティバルは、「誰もが どこでも 気軽に参加できるスポーツ」を目標として、9月～11月中にこまつドーム会場および市内の体育施設で開催するスポーツの祭典です。どの競技も、当日受付し、体験することができる。

【開催内容】 (令和2年度)

タグラグビー, ストリートハンドボール, グラウンドゴルフ(ホールインワン体験会), ペタンク, 輪投げ, クイックオリエンテーリング, 器械体操, アジャタ, リズムジャンプ, ゆるスポーツ(くつしたたまいれ, 歌舞伎の花道, 17のゴール, うどーりんぐ, 難関突破カブッキング)

◆日本カヌースプリントジュニア・ジュニアユース小松大会

【大会趣旨】

大会会場である木場潟カヌー競技場が、全国の小学生・中学生・高校生にとってあこがれの競技場となることを目的に、平成17(2005)年度から開催している。

【開催種目】 (平成25年度)

・男子 (中学生・高校生)

200m : K-1, K-2, K-4, C-1, C-2

500m : K-1, K-2, K-4, C-1, C-2, C-4

1000m : K-1, K-2, C-1, C-2

・女子 (中学生・高校生)

200m : K-1, K-2, K-4, C-1

500m : K-1, K-2, K-4, C-1, C-2



4. 小松市スポーツ賞

◆受賞対象者

受賞の対象は小松市民(小松市民とは、小松市に住民登録のある者又は小松市出身の学生をいう。)

主な受賞者

とよだ ようへい
豊田 陽平(サッカー)

まつした ももたろう
松下 桃太郎(カヌー)

きし だいき
岸 大貴(トランポリン)

なかがわ まい
中川 真依(飛び込み)

きし あやの
岸 彩乃(トランポリン)

たなか けいこ
田中 恵子(ボッチャ)

<スポーツ賞>

一般(小学生、中学生及び高校生を除く)を対象とし、次のとおりとする。

- 日本代表として、国際大会に出場した団体及び個人。
- 地区予選(県以上)のある全国大会において、入賞した団体及び個人。

<和田スポーツ賞>

中学生及び高校生を対象とし、次のとおりとする。

- 日本代表として、国際大会に出場した団体及び個人。
- 地区予選(県以上)のある全国大会において、入賞(3位まで)した団体及び個人。

<北野ホープ賞>

優秀な活動状況から将来のスポーツ活動に期待できると思われる小学校5年生、6年生を対象とし、次のとおりとする。

- 県大会以上の大会において、入賞した団体及び個人。

<スポーツ記録賞>

大会(公認)で、市標準記録以上のもの(陸上、水泳、自転車)。ただし、過去に受賞している場合は、その記録を上回ったもの。

<スポーツ奨励賞>

一般(小学生、中学生及び高校生を除く)を対象とし、次のとおりとする。

- 地区予選(県以上)のある全国大会及び全国大会に準ずる地区大会等において、特に顕著な成績を収め小松市スポーツ推進審議会が顕彰を認める団体及び個人。

<スポーツ功労賞>

体育・スポーツの普及振興に特に功労があり、10月31日現在で65歳以上の個人。

- ※ 1年度において1団体より1名のみの申請とする。

<スポーツ栄光賞>

スポーツの振興に特に貢献し、その功績が特に顕著なもの。

※推薦形式ではなく、市長が適当と認めるものを選考し表彰します。

<スポーツ特別賞>

スポーツの振興に特に貢献し、その功績が顕著なもの。

※推薦形式ではなく、市長が適当と認めるものを選考し表彰します。

※小松市スポーツ賞選考基準

○次の場合は、対象としない。

- * 過去にこの顕彰を受賞している団体及び個人。ただし、過去の成績を上回った個人、過去の受賞メンバーと違う団体の場合は対象とする。同じく記録賞については、過去の記録を上回っていれば対象とする。

5. 小松市出身の歴代オリンピック・パラリンピック選手

◇オリンピック

○村井 富雄 (ボート)

・第19回 メキシコシティ大会(1968年)

競技名 : ボート

種目名 : エイト

構成選手名 : 新井 喜範、加藤 忠正、清水 正俊、田中 重次郎、中田 二三男、
福益 敏、宮川 滋、山本 克美

記録 : 12位(6分52秒02)

○坂田 昌弘 (ボート)

・第24回 ソウル大会(1988年)

競技名 : ボート

種目名 : シングルスカル

記録 : 敗者復活戦敗退

・第25回 バルセロナ大会(1992年)

競技名 : ボート

種目名 : エイト

構成選手名 : 阿部 肇、岩畔 道德、岩月 孝敏、田邊 保典、松井 裕好、
三留 弘、山見 和久、林 秀一

記録 : 13位(5分51秒53)

○赤城 千恵子 (カヌー)

・第26回 アトランタ大会(1996年)

競技名 : カヌー

種目名 : 女子カヤック・ペア500m(K2)

構成選手名 : 渡辺 麻子

記録 : 敗者復活戦敗退(1分57秒94)



○村井 啓介 (ボート)

・第27回 シドニー大会(2000年)

競技名 : ボート

種目名 : 男子軽量級かじなしフォア

構成選手名 : 田邊 保典、佐藤 寛弥、小畑 篤史

記録 : 敗者復活戦敗退(14位、6分18秒56)



○豊田 陽平 (サッカー)

- ・第29回 北京大会(2008年)

競技名 : サッカー

ポジション : FW

構成選手名 : 山本 海人、西川 周作、水本 裕貴、長友 佑都、
森重 真人、安田 理大、内田 篤人、吉田 麻也、
本田 拓也、谷口 博之、梶山 陽平、細貝 萌、
本田 圭佑、香川 真司、李 忠成、岡崎 慎司、森本 貴幸

記録 : 予選グループ敗退(15位、0勝3敗)



○中川 真依 (水泳・飛込)

- ・第29回 北京大会(2008年)

競技名 : 水泳

種目名 : 飛込 女子10m高飛込み

記録 : 11位(296.30点)

- ・第30回 ロンドン大会(2012年)

競技名 : 水泳

種目名 : 飛込 女子10m高飛込み

記録 : 準決勝敗退(18位)



○松下 桃太郎 (カヌー)

- ・第30回 ロンドン大会(2012年)

競技名 : カヌー

種目名 : スプリント 男子カヤックシングル200m

記録 : 11位(38秒040)

種目名 : スプリント 男子カヤックペア200m

構成選手名 : 渡邊 大規

記録 : 10位(35秒739)

- ・第32回 東京大会(2020年)

競技名 : カヌー

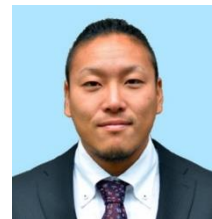
種目名 : スプリント 男子カヤックシングル200m

記録 : 16位(37秒250)

種目名 : スプリント 男子カヤックフォア500m

構成選手名 : 藤嶋 大規、水本 圭治、宮田 悠佑

記録 : 準々決勝敗退(1分24秒036)



○岸 彩乃 (トランポリン)

・第30回 ロンドン大会(2012年)

競 技 名 : 体操

種 目 名 : トランポリン 女子個人

記 録 : 予選敗退(14位)



○岸 大貴 (トランポリン)

・第32回 東京大会(2020年)

競 技 名 : 体操

種 目 名 : トランポリン 男子個人

記 録 : 7位(入賞) 57.815



◇パラリンピック

○田中 恵子 (ボッチャ)

・第16回 東京大会(2020年)

競 技 名 : ボッチャ

種 目 名 : 混合ペアBC3

構成選手名 : 河本圭亮、高橋和樹

記 録 : 2位(銀メダル)



6. 小松市の主なスポーツ施設

(令和2(2020)年12月現在)

◇小松運動公園(小松市末広町2)

・末広体育館(義経アリーナ)

●施設概要

各種スポーツ

バスケット2面、バレーボール2面、体操、
バドミントン8面、ソフトテニス2面、
ハンドボール1面、ソフトバレー8面、
卓球12台、

3階ランニングコース(1周217m)

収容人数：8,000人

施設内容：会議室、シャワー、トイレ



・末広陸上競技場(勸進帳スタジアム)

●施設概要

第2種公認陸上競技場

トラック(ウレタン)1周：400m 8コース

収容人数：スタンド 800人

バックスタンド 5,000人

施設内容：役員室、会議室、放送室、更衣室、トイレ



・末広野球場(弁慶スタジアム)

●施設概要

グラウンド：13,745㎡

(中堅122m×両翼99.1m)

収容人数：10,000人

(内野6,000人、外野4,000人)

室内練習場：2箇所(多目的850㎡、ブルペン150㎡)

施設内容：大会本部室、室内観覧席、放送室、運営室、審判員室、会議室、医務室、
更衣室、シャワー室、トイレ、ダッグアウト、ボールボーイ室



・末広テニスコート（S・フォーティーンコート）

●施設概要

人工芝コート14面（ナイター設備あり）

収容人数：400人

施設内容：更衣室、シャワー、トイレ、クラブハウス



・小松屋内水泳プール

●施設概要

25m競泳プール（7コース）、

幼児プール（水深70cm）、

飛び込みプール（飛込台3m・1m、水深4m）、

会議室、トレーニング室



・末広屋外水泳プール

●施設概要

50mプール：50m×22m、9コース

水深1.5～1.7m

飛び込みプール：25m×20m 水深5m

収容人数：700人



・末広屋外幼児プール（ちゃっぷる）

ペンギンをイメージした建物で、駐車場及びシャワー、更衣室完備です。きのこ噴水や内広滑り台などで楽しく水遊びができます。



・末広相撲場

●施設概要

屋外相撲場：収容人数 500人

屋内相撲場：収容人数 100人



◇念仏林グラウンド（小松市符津町念仏ケ2-1）

●施設概要

グラウンド：野球1面、ソフトボール4面

施設内容：トイレ



◇安宅海浜公園（小松市安宅町ル1-2）

●施設概要

グラウンド：野球1面、ソフトボール1面

自由の広場：グラウンドゴルフ等に使用可

施設内容：トイレ、休憩所



◇こまつドーム（小松市林町ほ5）

●施設概要

アリーナ：軟式野球1面、サッカー1面、テニス10面

アメフト1面、ハンドボール6面、

フットサル6面、ゲートボール16面、

ランニングトラック、ミーティングルーム

ロッカー、シャワールーム、

トイレ、展望ロビー

生涯学習センター：集会室、会議室、和室、生涯学習室、トレーニング室、

ウオーキングギャラリー、トイレ

屋外グラウンド：サッカー1面、ナイター設備完備

収容人数：10,000人



◇小松総合体育館（小松市下牧町69）

●施設概要

体育館：バレーボール2面、バスケットボール2面、

バドミントン10面、ハンドボール2面

第一体育館：（トレーニング室）

第二体育館：（トランポリン室）

ランニングコース：1周 200m

収容人数：1,500人

施設内容：医務室、応接室、更衣室、トイレ、シャワー室、

放送室、役員室、本部室、会議室



◇小松市武道館（小松市桜木町104-3）

●施設概要

さくらぎ：体育室：バレーボール1面、
バドミントン3面、空手、少林寺拳法、卓球

剣道場：剣道4面

柔道場：柔道・合気道3面

弓道場：射的（最大9人立ち）、看的所2ヶ所、
巻藁道場、審判室、役員控室

収容人数：剣道場・柔道場各200人

施設内容：更衣室、シャワー室、会議室、トレーニング室、ミーティング室、トイレ



◇大倉岳高原スキー場（小松市尾小屋町レ41）

●施設概要

ウェーデルンコース（Max30度/Av23度 430m）

ファミリーコース（Max16度/Av12度 350m）

日本海コース（Max23度/Av14度 670m）

チビッコゲレンデ（Max16度/Av12度 80m）

ロッジ、休憩室、レンタルスキー、売店、食堂



◇スカイパークこまつ翼（小松市日末町や1-1）

●施設概要

ソフトボール場（4面）

サッカー・ラグビー場（2面）

グラウンドゴルフ場（公認40ホール、常設32ホール）

パークゴルフ場（公認36ホール）



◇小松市民センター（小松市大島町丙42-3）

●施設概要

大ホール（546席）、

小ホール（最大380名※イスのみ）、

多目的広場（サッカー・ラグビー可、ナイター有）、

テニスコート（ハード4面）、

ミーティングルーム（定員54名）、

セミナールーム（3部屋）



◇木場潟スポーツ研修センター（小松市木場町ユ3-7）

●施設概要

テニスコート（砂入り人工芝4面、ハード3面）、
体育館（体操競技専用）、研修施設



◇木場潟カヌー競技場（小松市木場町木場潟内）

●施設概要

レーン数：9、コース幅：9m、レーン全長：1000m
フラットウォーターレーシングコースで国際大会・

- ・日本選手権大会が開催できるA級コースとして、認証を受けている。
- ・平成21(2009)年6月より、文部科学省指定のナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点施設に指定。
- ・東京2020オリンピック・パラリンピックでは、各国代表チームの事前合宿が行われた。



◇小松市マウンテンバイクコース（小松市東山町ヲ1-1）

●施設概要

サイクリングコース（1、466m）

利用可能日：3月から11月の毎週土曜・日曜及び祝祭日



◇ふれあい健康広場（小松市日末町サ29-1）

「自然の中での健康づくりと、夕陽の見える公園の創造」をメインテーマに、自然景観としての日本海の眺望を生かして造られた公園で、ファミリーゴルフ場や、バーベキュー広場、キャンプ場をはじめ、各年齢層に応じた各種レクリエーションが行なえるよう整備されています。



◇粟津公園（県営）（小松市符津町念仏ヶ3-1）

児童館、テニスコート6面（屋内1面、屋外5面）、
野球場、多目的グラウンドなどの設備のほか、
尾小屋鉄道ディーゼル機関車の試乗や、
プロペラ飛行機の展示なども行っています。

